

登録コード	E2573900	開講年度	2026				
授業科目	西洋近代美術史					担当教員	小野 文子
英文授業名	Theory of Art					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限		対象学生
講義室	教育N 2 0 4 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	19世紀の西洋美術の流れを理解する。特に、時代と様式が結びつく時代が終わる近代絵画の流れについて、それぞれの主義や派に属した個々の画家にも注目して、モダン・アートの特徴について学ぶ。 連絡事項はe-ALPSに情報をアップしますので、随時確認して下さい。						
(5)授業計画	第1回： ガイダンス 第2回： 絵画における近代の幕開け 第3回： 19世紀のフランスとイギリス美術 第4回： ロマン派とロマン主義 第5回： 新古典主義 第6回： 写実主義 第7回： アカデミーとサロン 第8回： 伝統と改革 第9回： 印象主義の誕生 第10回： 印象主義の画家たち 第11回： 印象主義の絵画 第12回： 後期印象主義 第13回： 象徴主義 第14回： 日本趣味の流行 （授業アンケート） 教育実習を理由とした欠席については、授業において指示する						
(6)成績評価の方法	レポート ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」						
(8)事前事後学習の内容	事前事後の学習については、自ら学ぶべき課題を設定し、資料収集やその整理、読解、分析を行うこと。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	oayako@shinshu-u.ac.jpに連絡のこと。						
【教科書】	使用しない。						
【参考文献】	授業中に紹介する。						